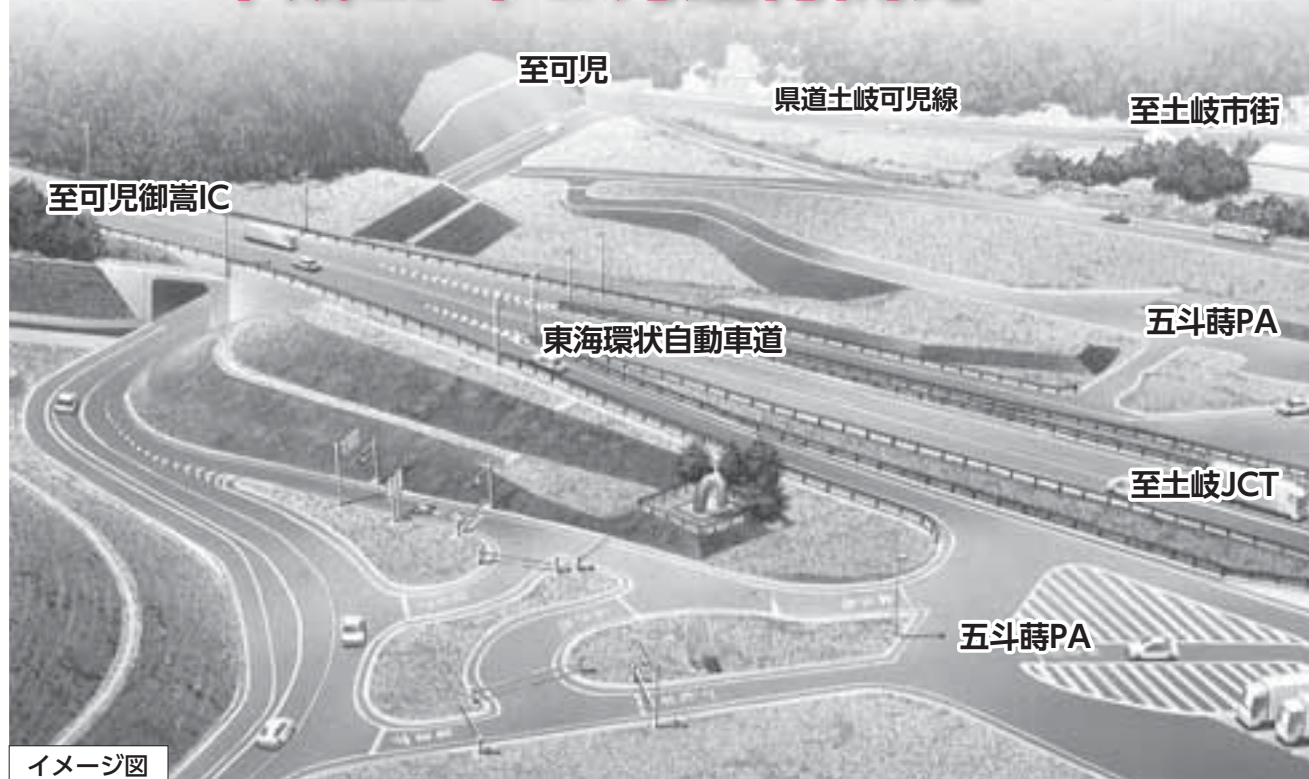


五斗蒔スマートインターチェンジ(仮称)

平成25年2月通行開始(予定)



イメージ図

市では、市民の利便性向上、企業誘致の促進、観光振興の支援などを目的として、市内を南北に縦断する東海環状自動車道の五斗蒔パーキングエリア（五斗蒔PA）内に、スマートインターチェンジ（スマートIC）を設置する準備を進めてきました。

3月1日に、国土交通省から東海環状自動車道と土岐市道とを連結する許可が下り、多治見砂防国道事務所今井一之所長（写真左）から連結許可書が大野市長に伝達されました。これにより、五斗蒔PAに接続するスマートICの整備に着手できることになり、平成25年2月末日の通行開始に向け、工事を進めていきます。

スマートインターチェンジとは

スマートICは、高速道路の本線やサービスエリア（SA）、パーキングエリア（PA）、バスストップから乗り降りができるように設置されるインターチェンジで、通行可能な車両（料金の支払い方法）を、ETC搭載車両に限定したインターチェンジです。利用車両を限定するため、簡易な料金所の設置で済むなど、従来のインターチェンジに比べて低コストで導入できるなどのメリットがあります。

五斗蒔スマートICはPA接続型

スマートICのうち、高速道路との接続箇所が、パーキングエリアにあるものをPA接続型といいます。既存の施設を活用することで、比較的容易にアクセス路を確保することができます。

県内2カ所目のスマートIC

五斗蒔スマートICは、県内では、平成21年4月に開設した、東海北陸自動車道「ひるがの高原スマートIC」に次いで、2カ所目のスマートICになります。



3月3日に行われた連結許可書伝達式の様子